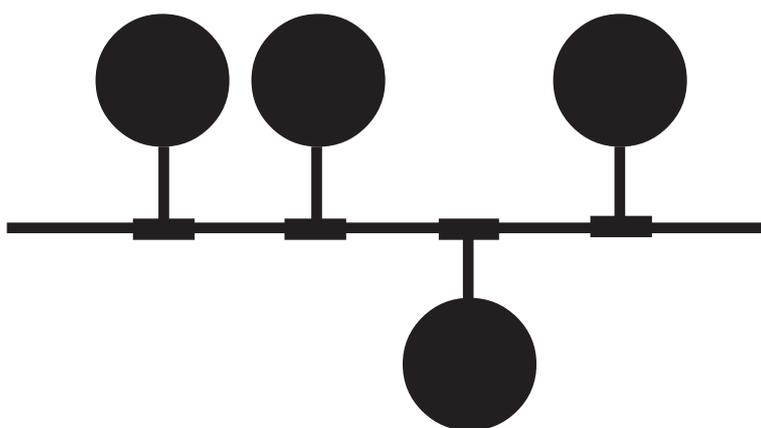


Network Interface Card

REX-5586/87

ユーザーズマニュアル



1997年1月

第3.0版

RATOC
ラトックシステム株式会社

このたびはREX-5586/87 ネットワークインターフェイスカードをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。この製品はPC/AT互換機のデスクトップシリーズでネットワーク環境を実現できるように設計されたISAバス専用のLANインターフェイスカードです。各種ネットワークシステム(NetWare, LanManager, Windows95, WindowsNT等)に対応したドライバが付属しており、あらゆる環境で使用することができます。今後も各ドライバのバージョンアップなど、より一層のサポートを充実していきますので末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

本書は、REX-5586/87の導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。REX-5586/87を正しくお使い頂くため、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

また、添付ディスクに入っているREADMEファイルには本マニュアルに記載できなかった情報がありますので合わせてご覧ください。最新のドライバについては弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

ご注意

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の内容につきましては万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤りなどにお気づきになりましたらご連絡願います。

運用の結果につきましては、責任を負いかねますので、予めご了承願います。

本製品の保証や修理に関しては、添付の保証書に記載されております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。

本製品および本製品付属のマニュアルに記載されている名称・会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

インターフェイスカード取り扱い上の注意

インターフェイスカードの分解や改造等は絶対に行わないでください。

インターフェイスカードを落とす、傷つける、上に重いもの載せる等は行わないでください。

インターフェイスカードを抜くときは、コネクタ両側の突起を押しながら抜いてください。

ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは高周波の信号により、ノイズを与えることがあります。

モーターなどノイズを発生する機器の近くでは誤動作することがありますので、必ず離してご使用ください。

煙がでたり、変な臭いがする場合は、ただちにパソコン本体や周辺機器の電源を切り、電源ケーブル等もコンセントから抜いてください。またパソコン本体からインターフェイスカードも取り外し、必ず販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

インターフェイスカードが濡れた場合、ショートによる火災や感電の恐れがあるため使用しないでください。また、必ず販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

本製品を使用しない場合、次のような場所での保管は避けてください。

直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所、暖房器具の近く

温度差の激しい場所、チリやほこり、湿気の多い場所

振動や衝撃の加わる場所

スピーカ等の磁気を帯びたものの近く

製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問等がございましたら、下記まで電話、手紙またはFAXでお問い合わせください。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター

〒556 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル

TEL 06-633-6766

土日祝を除く月～金の10:00～17:00

FAX 06-633-3553

FAXでの受け付けは24時間行っております。

また、NIFTY Serveの以下のフォーラムでも受け付けております。

NIFTY Serve PC Vendor STATION E (SPCVE)
電子会議室8番「ユーザサポート」

今後はインターネットのホームページでも最新の情報などをお届けしていく予定です。是非ご覧ください。

ラトックシステムのホームページアドレス
<http://www.rexpccard.co.jp>

お問い合わせの際には、最後のページの「質問用紙」に必要事項を記入の上、上記FAX番号までお送りください。折り返し弊社より電話またはFAXにて回答させていただきます。

また、ご質問に対する回答は上記営業時間内の処理となりますのでご了承ください。

ご質問の内容によってテスト・チェック等の関係上、時間がかかる場合がありますのでご了承ください。

サポートに関する物品の送料等はお客様負担となりますので、予めご了承ください。

第 1 章 REX-5586/87について

概要

REX-5586/87はPC/AT,AX,DOS/Vパソコンの本体拡張スロットに装着するように設計された、ネットワークインターフェイスカードです。

本カードは、LAN(ローカル・エリア・ネットワーク)で標準となっているIEEE802.3(draft10)準拠の通信ポートを装備しており以下の種類があります。

REX-5586 10BASE-Tインターフェイス回路を実装しています。

REX-5587 10BASE2インターフェイス回路を実装しています。

本カードの特徴としてLANコントローラおよびバスインターフェイス等を1チップ上に集積したLSIを使用することにより従来製品に比べ大幅な部品削減を行ない低価格、高信頼性を追求しました。

対応パソコン

PC/ATおよびその100%互換機(DOS/V機)

AX規格のパソコン(本体拡張スロットのあるもの)

付属品

REX-5586/87にはネットワークインターフェイスカード以外に以下のものが付属します。

ドライバソフトウェア(注1)	× 1
マニュアル類	× 2
ご愛用者登録カード(はがき) / 保証書(注2)	× 1

REX-5587のみ上記以外に以下のものが付属します

T型コネクタ	× 1
--------	-----

(注1).フロッピーディスクの媒体は3.5インチ1.44MBです。

(注2).ご愛用者登録カードは保証書を切り離した後、必要事項を記入の上必ずご返送ください。ご返送頂けない場合、バージョンアップなどのサポートサービスは受けられませんのでご注意ください。

付属ソフトウェア

本製品に付属のフロッピーディスクには次のソフトウェアが含まれています。

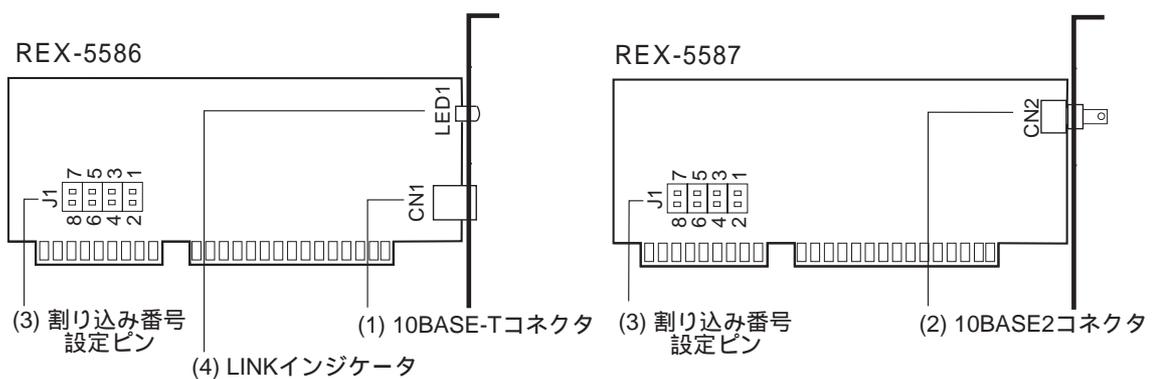
ネットワークアプリケーション名	ドライバ名
NetWare4.11J/4.1J/3.12J/3.11J/NetWare Lite-J/Personal Netware用DOSODIドライバ	REX5586.COM
NetWare Client32ドライバ	REX5586.LAN
Windows95用NDISドライバ	REX5586.VXD
日本語LANマネージャ v2.1x DOSクライアント用NDISドライバ	ND5586.DOS
LANtastic6.0用NDISドライバ	ND5586LT.DOS
WindowsNT4.0用NDISドライバ	REX5586.SYS
WindowsNT3.5x用NDISドライバ	REX5586.SYS
パケットドライバ	PD5586.COM
自己診断ユーティリティプログラム	NICUT.EXE

フロッピーディスク内のディレクトリ階層構造やファイル名については、同ディスク内の READMEファイルをテキストエディタ等を使用して確認してください。

ドライバソフトウェアについては各ネットワークOS用インストールマニュアルに従ってご使用ください。

READMEファイルにはマニュアルに記載できなかった最新情報がありますので必ずご覧ください。

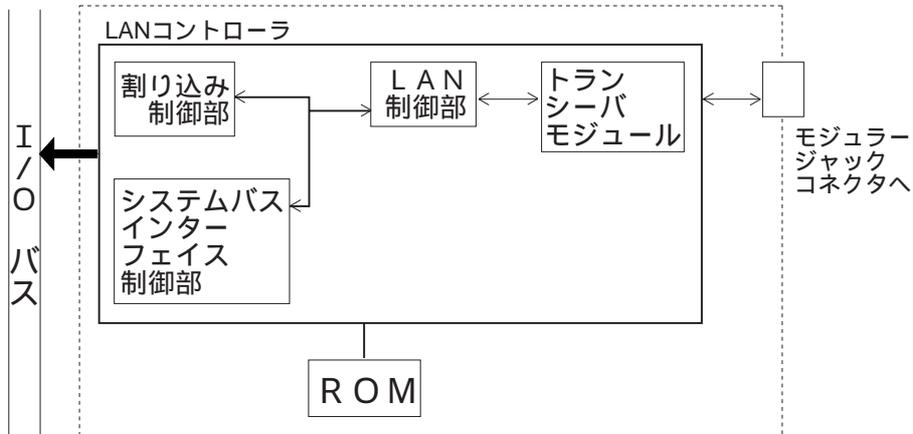
各部の名称とはたらき



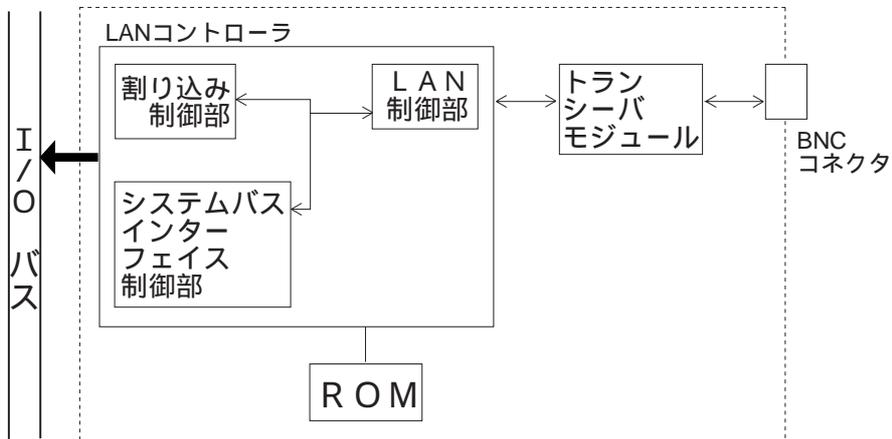
- (1) 10BASE-Tコネクタ ネットワークケーブル(10BASE-T規格)を接続します。
- (2) 10BASE2コネクタ ネットワークケーブル(10BASE2規格)を接続します。
- (3) 割り込み番号設定ピン 本製品が使用する割り込み番号を設定します。
- (4) LINKインジケータ ツイストペアリンクが正常に接続され、通信可能時に点灯します。

ブロック図

REX-5586



REX-5587



ブロック図説明

LANコントローラ(MB86965A)

- ・LAN制御部
- ・割り込み制御部

REX-5586/87の各状態の割り込み通知機能を制御します。

- ・システムバスインターフェイス制御部

CPUとLAN制御部間のデータ転送を、高速かつ効率よく行ないます。

- ・トランシーバモジュール(REX-5586)

IEEE802.3(draft10)10BASE-Tの電気信号に変換します。

トランシーバモジュール(REX-5587)

IEEE802.3(draft10)10BASE2の電気信号に変換します。

ROM

グローバルアドレス(MACアドレス)を記憶しています。

第2章 REX-5586/87のセットアップ

REX-5586/87のインストールは以下の手順で行います。

1、I/Oベースアドレスの調査

付属のユーティリティを使用して設定可能なI/Oベースアドレスを調査します。



2、割り込み番号の調査・ショートプラグの設定

付属のユーティリティを使用して設定可能な割り込み番号を調査し、ショートプラグの設定を行います。



3、REX-5586/87の装着

REX-5586/87をパソコン本体へ装着します。



4、I/Oベースアドレス・割り込み番号の設定

REX-5586/87のI/Oベースアドレスと割り込み番号を実際に設定します。



5、LANケーブルの接続

使用するHUB等への接続を行います。詳しくは後述の「LANケーブルの接続」をご覧ください。



6、ループバックテスト

付属のユーティリティを使用してパケットの送受信が可能かをテストします。

ご使用になる環境によりましては、本書の手順通りインストールできない場合もありますので予めご了承ください。

I/Oベースアドレスの調査

I/Oアドレスは次の8種類が用意されており、その1つをソフトウェアで選択して使用できます。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1: 240h ~ 25Fhを占有 | 5: 300h ~ 31Fhを占有 |
| 2: 260h ~ 27Fhを占有 | 6: 320h ~ 33Fhを占有 |
| 3: 280h ~ 29Fhを占有 | 7: 340h ~ 35Fhを占有 |
| 4: 2A0h ~ 2BFhを占有 | 8: 380h ~ 39Fhを占有 |

I/Oアドレスの競合

本製品とI/Oアドレスが競合する可能性のあるデバイスは以下のとおりです。

I/Oアドレス	競合デバイス	競合アドレス
260h ~ 27Fh	パラレルポート2	278h ~ 27Fh
2A0h ~ 2BFh	EGA表示アダプタ	2B0h ~ 2DFh
300h ~ 31Fh	内蔵SCSIボード(J-3100シリーズ)	300h

I/Oアドレスの確認

REX-5586/87をパソコン本体に装着する前に、I/Oベースアドレスの競合について調べます。

(1).REX-5586/87付属のフロッピーに含まれる「NICUT.EXE」プログラムを起動します。

```
C:¥>A: <Enter>
A:¥>CD UTIL <Enter>
A:¥UTIL>NICUT <Enter>
```

カレントドライブをフロッピーを挿入したドライブに移動
カレントディレクトリを「UTIL」に移動
「NICUT.EXE」を起動

(2).メインメニューの「ハードウェア状況の確認」を選択します。そして「未使用I/Oポートアドレスの確認」を選択すると下の画面が表示されます。

```
R E X L A N Series Network Interface Card Utility (NICUT.EXE) Version x.xx
未使用I/Oポートアドレスの確認
```

未使用のI/Oポートアドレスについて調べます

```
ネットワーク・インターフェイス・カードを装着するパソコン本体機種
装着予定のネットワーク・インターフェイス・カード
```

```
DOS/V
REX-5586/87
```

```

REX-5580/81
REX-5584
REX-5585
REX-5586/87
REX-5580T/C/F
REX-5588
```

カーソルを移動させて項目を選択してください

カーソルキーを押して「REX-5586/87」を選択しリターンキーを押します。

第2章 REX-5586/87のセットアップ

(3).REX-5586/87を選択するとI/Oベースアドレス のリストが表示されます。

I/Oアドレスの調査を開始するために「実行」を選択します。

使用状況のフィールドが「使用済」の場合はREX-5586/87を装着することはできません。

「使用済」が表示されていないI/Oアドレス値を書き留めておいてください。

(4).300hが「使用済」の場合について

REX-5586/87は製品出荷時に「300h」を使用する設定となっているため、すでに「300h」を使用しているカードとI/Oアドレス競合が発生し、そのままではパソコン本体に装着できません。これを回避するために次の処理を行なってください。

- a. すでに「300h」を使用しているカードのI/Oアドレスを一度別の値に変更してください。
- b. 次に後で説明するパソコン本体の取り付け方法に従って、REX-5586/87をパソコン本体に装着してください。
- c. そして後で説明するI/Oアドレスの設定方法に従って、REX-5586/87のI/Oアドレスを「300h」以外の使用可能な値に変更してください。
- d. 最後に、先に「300h」から別の値に変更していたカードのI/Oアドレスを元の「300h」に戻します。

割り込み番号の調査・ショートプラグの設定

割り込み番号は次の7種類が用意されており、その1つをソフトウェアおよびカード上のショートプラグ(J1)によって選択し使用できます。

IRQ3/IRQ4/IRQ5/IRQ9/IRQ10/IRQ11/IRQ12

割り込み番号の競合

本製品と割り込み番号が競合する可能性のあるデバイスは以下のとおりです。

割り込み番号	競合デバイス
IRQ3	シリアルポート2および4
IRQ4	シリアルポート1および3
IRQ5	プリンタポート3/シリアルポート(J-3100シリーズ)
IRQ9	EGA表示アダプタ

割り込み番号の確認

REX-5586/87をパソコン本体に装着する前に、カードが使用する割り込み番号の競合について調べます。

(1)「NICUT.EXE」プログラムでメインメニューの「ハードウェア状況の確認」を選択しさらに「割り込み番号の確認」を選びます。そしてネットワークインターフェイスカードのリストから「REX-5586/87」を選択すると次の画面が表示されます。

REXLAN Series Network Interface Card Utility (NICUT.EXE) Version x.xx
割り込み番号の確認

未使用の割り込み(IRQ)番号について調べます
ネットワーク・インターフェイス・カードを装着するパソコン本体機種 DOS/V
装着予定のネットワーク・インターフェイス・カード REX-5586/87

下の各、割り込みについて調べます **実行** 中止

割り込み番号	使用状況
IRQ 3	未調査
IRQ 4	未調査
IRQ 5	未調査
IRQ 9	未調査
IRQ10	未調査
IRQ11	未調査
IRQ12	未調査

(2).割り込みの調査を開始するために「実行」を選択します。

使用状況のフィールドが使用済の割り込み番号は確実に競合するため使用できません。

注意

このプログラムでは他のインターフェイスカードが使用しているであろう割り込み番号の調査をソフトウェアのみで行なっています。このため、他のインターフェイスカードの割り込み番号がハードウェア設定されていても、インターフェイスカードを制御するBIOSやプログラムが割り込みの使用を開始していなければ使用状況には使用済とは表示されません。したがって「使用済」と表示されていない割り込み番号でも使用できない場合がありますのでご注意ください。

(3).IRQ5が使用済になっている場合について

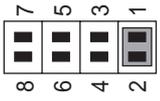
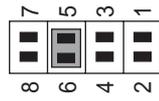
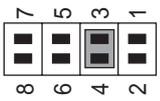
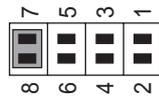
REX-5586/87は製品出荷時にIRQ5を使用する設定となっているため、すでにIRQ5を使用しているカードと割り込みの競合が発生し、そのままではパソコン本体に装着できません。これを回避するために次の処理を行なってください。

- a. すでにIRQ5を使用しているカードの割り込み番号を一度別の番号に変更してください。
- b. 次に後で説明するパソコン本体への取り付け方法に従って、REX-5586/87をパソコン本体に装着してください
- c. そして後で説明する割り込み番号の設定方法に従って、REX-5586/87の割り込み番号をIRQ5以外の使用可能な番号に変更してください。
- d. 最後に、先にIRQ5から別の番号に変更していたカードの割り込み番号を元のIRQ5に戻します。

第2章 REX-5586/87のセットアップ

ショートプラグの設定

IRQ9/IRQ10/IRQ11/IRQ12のいずれかを使用する場合、インターフェイスカード上のJ1を下記の該当する割り込み番号に従って設定します。必ず割り込み番号の調査で「使用済」になっていない値を設定してください。

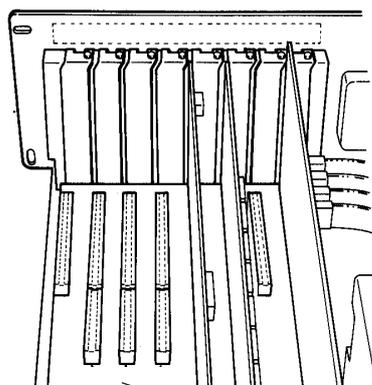
割り込み番号	ショートプラグの設定	割り込み番号	ショートプラグの設定
IRQ9	 2-1に挿入	IRQ11	 6-5に挿入
IRQ10	 4-3に挿入	IRQ12	 8-7に挿入

REX-5586/87の装着

REX-5586/87を拡張スロットに装着する前に、必ずパソコン本体の電源をオフにしてください。電源が入ったままで作業すると、本体およびネットワークインターフェイスカードの故障の原因となるので、絶対に行なわないでください。

装着スロットの確認

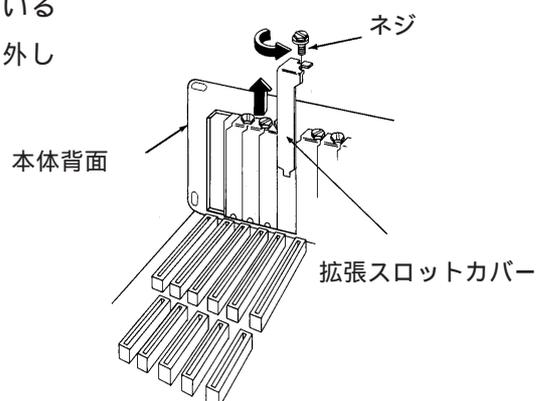
本製品は下図に示す「デュアルコネクタ拡張スロット」に装着します。



デュアルコネクタ拡張スロット

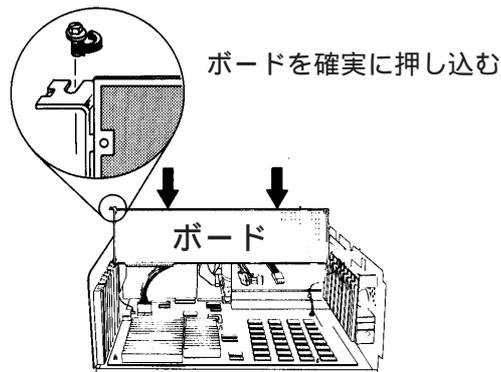
拡張スロットカバーの取り外し

図のよう、拡張スロットカバーをとめているネジを外し、拡張スロットカバーを取り外してください。



カードの挿入と固定

カードを拡張スロットに確実に押し込んだ後、拡張スロットカバーを止めてあったネジを使い、ボードを完全にネジ止めします。



起動(ブート)の確認

パソコン本体の電源を入れて正常に起動することを確認します。

パソコンが正常に起動しない場合は、すみやかに電源を落として次のことを確認してみてください。

- ネットワークインターフェイスカードが拡張スロットの奥までしっかりと挿入されているか
- ネットワークインターフェイスカードとI/Oアドレスが競合するカード等が装着されていないか
- ネットワークインターフェイスカードの使用する割り込み番号と同じ番号を使用しているカード等が装着されていないか

I/Oベースアドレス・割り込み番号の設定

REX-5586/87が使用するI/Oアドレス・割り込み番号を確認・変更します。

NICUTの起動

REX-5586/87付属のフロッピーに含まれる「NICUT.EXE」プログラムを起動します。

```
C:¥>A: <Enter>  
A:¥>CD UTIL <Enter>  
A:¥UTIL>NICUT <Enter>
```

カレントドライブをフロッピーを挿入したドライブに移動
カレントディレクトリを「UTIL」に移動
「NICUT.EXE」を起動

メインメニューの「ハードウェアの状況の確認」「REX-5580T/C/F, REX-5586/87のカード設定」を選択すると次の画面が表示されます。

第2章 REX-5586/87のセットアップ

REXLAN Series Network Interface Card Utility (NICUT.EXE) Version x.xx
REX - 5580T / C / F, REX - 5586 / 87のカード設定

カード選択 アドレス選択 割り込み選択 書き込み 終了

設定するカードを選択します

現在のカード状況			リセット後		書き込み変更値		
Card	Port	IRQ	MAC Address	Port	IRQ	Port	IRQ
1	240h		未使用				
2	260h		他のカード				
3	280h		未使用				
4	2A0h		未使用				
5	300h	5	00:C0:D0:55:00:03	300h	5	300h	5
6	320h		未使用				
7	340h		未使用				
8	380h		未使用				

REX-5586/87が2枚以上装着されている場合は、設定したいカードを決定するために「カード選択」を選んで、該当するカードの位置でリターンキーを押します。

I/Oアドレスの変更

I/Oアドレスを変更する場合は「アドレス選択」を選びます。下のリストが表示されたら「使用済」以外のI/Oアドレスを選択します。

240h	260h	280h	2A0h	300h	320h	340h	380h
未使用	使用済	未使用	未使用	使用済	未使用	未使用	未使用

I/Oアドレスを選択してリターンキーを押すと変更しているカードの「書き込み変更値」の覧が変わります。

現在のカード状況			リセット後		書き込み変更値		
Card	Port	IRQ	MAC Address	Port	IRQ	Port	IRQ
5	300h	5	00:C0:D0:55:00:03	300h	5	320h	5

割り込み番号の変更

割り込み番号を変更する場合は、「割り込み選択」を選びます。下のリストが表示されたら「使用済」以外の割り込み番号を選択します。

IRQ3	IRQ4	IRQ5	IRQ9	IRQ10	IRQ11	IRQ12
未使用	未使用	未使用	未使用	未使用	未使用	未使用

注意

IRQ3,IRQ4,IRQ5はこのソフトの設定のみで使用できますが、IRQ9,IRQ10,IRQ11,IRQ12はカード上のショートプラグ(J1)も設定しておかないと使用できません。このためここではIRQ9,IRQ10,IRQ11,IRQ12が1つの項目として選択されます。

割り込み番号を選択してリターンキーを押すと、変更しているカードの「書き込み変更値」の欄の値が変わります。

現在のカード状況				リセット後		書き込み変更値	
Card	Port	IRQ	MAC Address	Port	IRQ	Port	IRQ
5	300h	5	00:C0:D0:55:00:03	300h	5	320h	4

変更した値の書き込み

必要な値を設定したら、その値をカードに書き込むために「書き込み」を選択します。下のメッセージが表示されたら書き込む値を確認して問題がなければ「書き込み」を選択します。

Card	5	Port	300h	IRQ5	のカードを
		Port	320h	IRQ4	に変更します
					書き込み 中止

「書き込み」を選択してリターンキーを押すと変更した値がカードに書き込まれます。正常に書き込まれると、変更したカードの「リセット後」の欄の値が変わります。

現在のカード状況				リセット後		書き込み変更値	
Card	Port	IRQ	MAC Address	Port	IRQ	Port	IRQ
5	300h	5	00:C0:D0:55:00:03	300h	4	320h	4

そして下のメッセージが表示されます。

新たに設定した値でREX-5580T/C/F, REX-5586/87を動作させるために、必ずパソコン本体をリセットしてシステムを再起動してください。

パソコンの再起動

最後に終了を選択した後、プログラムを終了させて書き込んだ値を有効にするためパソコン本体をリセットして再起動してください。

注意

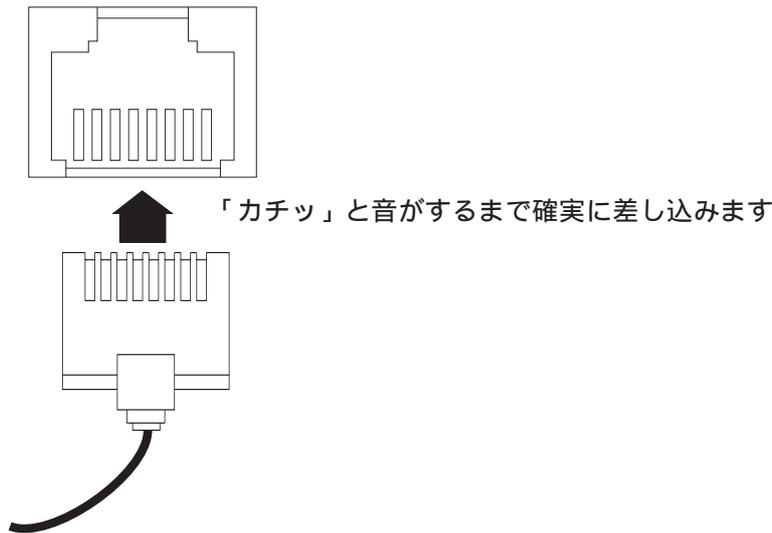
CTRL + **Alt** + **Del** を押してのシステム再起動では、設定した値が有効にならないパソコンがあります。必ずパソコン本体のリセットスイッチを押すか、電源を切ってしばらくおいて電源を再投入するかの方法でリセットしてください。

LANケーブルの接続

REX-5586への接続

(1).10BASE-Tコネクタへの接続と固定

HUBに接続されている10BASE-Tケーブルのモジュラープラグ部を、ネットワークインターフェイスカードの10BASE-Tコネクタに接続します。最後まで差し込まれるとそのままケーブルは固定されます。

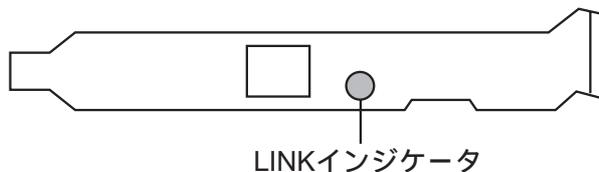


注意

最後まで確実に差し込まないとケーブルが抜ける可能性がありますのでご注意ください。

(2). LINKインジケータの確認

カード背面パネルのLINKインジケータLEDが点灯していることを確認します。



リピータまたはHUBからの信号がネットワークインターフェイスカードに正しく入力されていない場合は、LEDが点灯しませんので次のことを確認してみてください。

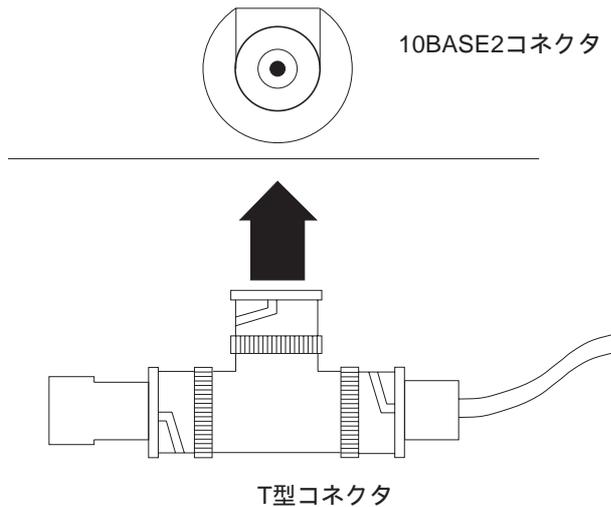
- 10BASE-Tケーブルの両端がネットワークインターフェイスカードおよびリピータまたはHUBの10BASE-Tコネクタに正しく挿入されているか
- 10BASE-Tケーブルの結線が規格に合ったものか
- 接続先のリピータまたはHUBの電源がONになっているか

LEDが点灯していなければネットワークの使用および以降の動作確認テストが行なえません。必ずLEDが点灯した上で次にお進みください。

REX-5587への接続

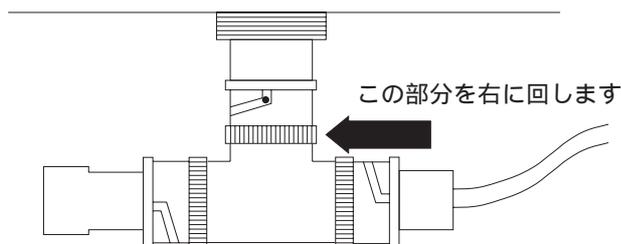
(1).10BASE2コネクタへの接続

10BASE2ケーブルを接続したT型コネクタ部を、ネットワークインターフェイスカードの10BASE2(BNC)コネクタに接続します。



(2).ケーブルの固定

ネットワークインターフェイスカードと接続されているコネクタ部のギザギザの部分を中心に右に回し、10BASE2ケーブルが抜けないように固定します。



(3).ターミネータについて

ターミネータ(終端抵抗)は、送信データの電気信号の反射によるエラーを防止します。

ターミネータは必ずネットワークの両端に接続してください。

ターミネータが接続されていない場合は、ネットワークが使用できませんのでご注意ください。

接地(アース)用のケーブルが付属したターミネータは、絶対に使用しないでください。

ネットワークインターフェイスカードはアイソレーションされているため接地の必要はありません。接地されたターミネータを使用した場合、逆に故障の原因となります。

第2章 REX-5586/87のセットアップ

ループバックテスト

割り込みを使用しないループバックテスト

(1). REX-5586/87付属のフロッピーに含まれる「NICUT.EXE」プログラムを起動します。

```
C:¥>A: <Enter>
A:¥>CD UTIL <Enter>
A:¥UTIL>NICUT <Enter>
```

カレントドライブをフロッピーを挿入したドライブに移動
カレントディレクトリを「UTIL」に移動
「NICUT.EXE」を起動

(2).メインメニューの「ネットワーク・インターフェイス・カードの動作確認」を選択します。そして「ループバックテスト」を選択すると下の画面が表示されます。

R E X L A N Series Network Interface Card Utility (NICUT.EXE) Version x.xx		ループバックテスト	
パソコン本体機種	DOS/V	カードの設定	
ネットワーク・インターフェイス・カード		ループバックテスト	
I/Oベースアドレス		送信間隔(0-60)	0秒
MACアドレス		送信回数(0-9999)	100回
割り込み			
メニューを選択してください			

(3).最初に「カードの選択」を選択します。下のカードリストが表示されたら「REX-5586/87」を選択します。

ネットワーク・インターフェイス・カードを選択してください	
カード名称	
REX-5580/81	
REX-5584	
REX-5585	
REX-5586/87	
REX-5580T/C/F	
REX-5588	

(4).下のベースアドレスのリストが表示されたらカードに設定したアドレスを選択します。そして割り込み番号は「なし」を選択します

割り込み番号を選択してください		
カード名称	ベースアドレス	割り込み番号
REX-5586/87	300h 00:C0:D0:55:80:01	IRQ3 使用済
		IRQ4 選択不可
		IRQ5 選択可
		IRQ9 選択不可
		IRQ10 選択不可
		IRQ11 選択不可
		IRQ12 選択不可
		なし

(5).次に「ループバックテスト」を選択してテストを開始します。

R E X L A N Series Network Interface Card Utility (NICUT.EXE) Version x.xx			
ループバックテスト			
パソコン本体機種	DOS/V	TX TimeOut 0000	Rx TimeOut 0000
ネットワーク・インターフェイス・カード	REX-5586/87	TX ShortPKT0000	Rx ShortPKT 0000
I/Oベースアドレス	300h	16 Colision0000	Rx OverFlow 0000
MACアドレス	00:C0:D0:55:80:01	BusWritEr 0000	AligmentEr 0000
割り込み番号	なし	CRC Error 0000	DataCompEr 0000

送信状態	A0	受信状態	80
送信間隔		0 秒	
送信回数		2/100回	

96/07/06 15:40:10 00001 a quick brown fox jumps over the lazy dog.0123456789			
96/07/06 15:40:10:00002 0123456789.A QUICK BROWN FOX JUMPS OVER THE LAZY DOG			

送信回数で指定された回数分テストを行うと終了します。

割り込みを使用するループバックテスト

(1).再び「カードの選択」を選択して、カードに設定した割り込み番号を選択します。

(2).次に「ループバックテスト」を選択して、テストを開始します。

R E X L A N Series Network Interface Card Utility (NICUT.EXE) Version x.xx			
ループバックテスト			
パソコン本体機種	DOS/V	TX TimeOut 0000	Rx TimeOut 0000
ネットワーク・インターフェイス・カード	REX-5586/87	TX ShortPKT0000	Rx ShortPKT 0000
I/Oベースアドレス	300h	16 Colision0000	Rx OverFlow 0000
MACアドレス	00:C0:D0:55:80:01	BusWritEr 0000	AligmentEr 0000
割り込み番号	IRQ5	CRC Error 0000	DataCompEr 0000

送信状態	A0	受信状態	80
送信間隔		0 秒	
送信回数		2/100回	

96/07/06 15:40:10 00001 a quick brown fox jumps over the lazy dog.0123456789			
96/07/06 15:40:10:00002 0123456789.A QUICK BROWN FOX JUMPS OVER THE LAZY DOG			

以上のテストで正常動作が確認されれば、ハードウェア側のインストールは完了です。

そのまま、使用する各ネットワークOSに対応した別冊のインストールガイドに従ってLANドライバ等のインストールを進めてください。

第3章 付録

仕様

	REX-5586	REX-5587
入出力ポート	10BASE-T ×1	10BASE2 ×1
入出力コネクタ	モジュージャックコネクタ (RJ-45) インピーダンス 100	BNCコネクタメス型 インピーダンス 50
最大消費電圧・電流	+5V 250mA	+5V 350mA
本体CPUとのインターフェイス	16bit I/O制御方式	
バッファ容量	32Kバイト(カード上)	
I/Oアドレス	240h/260h/280h/2A0h/300h/320h/340h/380hより選択	
割り込み	IRQ3/IRQ4/IRQ5/IRQ9/IRQ10/IRQ11/IRQ12より選択	
グローバルアドレス (MACアドレス)	カード上EEPROMに記憶 アドレスを印刷したシールがカード上に貼られています。	

REX-5586/87質問用紙(拡大コピーの上ご記入ください)

ユーザ情報記入欄

会社名			
所属			
氏名			
住所	〒		
電話番号		FAX番号	
製品型番	REX-5586	REX-5587	シリアル番号
販売店名		購入年月日	年 月 日

パソコン環境状況記入欄&質問内容

パソコン機種名						
使用OS	MS-DOS ver	Windows95	WindowsNT	3.5	3.51	4.0
ネットワークOS	Version					
質問内容						
添付資料:インストール等に関するご質問の場合は、下記のデータが必要です。送付して頂いたデータをチェックしてください。						
CONFIG.SYS	AUTOEXEC.BAT	SYSTEM.INI	NET.CFG	PROTOCOL.INI		
デバイスマネージャのシステム概要			WindowsNT診断プログラムのレポート			

デバイスマネージャのシステム概要(Windows95のみ)

- (1).コントロールパネルのシステムのデバイスマネージャから「印刷(N)...」ボタンを押します。
- (2).レポートの種類に「全てのデバイスとシステムの概要」を選択して「OK」ボタンを押します。

WindowsNT診断プログラムのレポート(WindowsNTのみ)

- (1).WindowsNT診断プログラムを起動し、「ファイル」メニューから「レポートの印刷(N)...」ボタンを押します。
- (2).ドライバ、デバイス、IRQ/ポート、ネットワークをチェック選択して「OK」ボタンを押します。

目次

はじめに	1
ご注意	1
インターフェイスカード取り扱い上の注意	1
製品に関するお問い合わせ	2
第 1 章 REX-5586/87について	3
概要	3
対応パソコン	3
付属品	3
付属ソフトウェア	4
各部の名称とはたらき	4
ブロック図	5
第 2 章 REX-5586/87のセットアップ	6
I/Oベースアドレスの調査	7
I/Oアドレスの確認	7
割り込み番号の調査・ショートプラグの設定	8
割り込み番号の確認	8
ショートプラグの設定	10
REX-5586/87の装着	10
装着スロットの確認	10
拡張スロットカバーの取り外し	10
カードの挿入と固定	11
起動(ブート)の確認	11
I/Oベースアドレス・割り込み番号の設定	11
NICUTの起動	11
I/Oアドレスの変更	12
割り込み番号の変更	12
変更した値の書き込み	13
パソコンの再起動	13
LANケーブルの接続	14
REX-5586への接続	14
REX-5587への接続	15
ループバックテスト	16
割り込みを使用しないループバックテスト	16
割り込みを使用するループバックテスト	17
第 3 章 付録	18
仕様	18
